

「未来高岡」ステップアップトーク（成美地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 8 月 30 日（火） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 成美公民館

3、出席者 市民 48 名（うち女性 11 名）

高岡市

市長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・金屋町にある旧南部鑄造所のキュポラは、案内表示がなく観光客に分かりにくい。また、観光客が休憩できる場所もないので整備が必要ではないか。

市長

- ・金屋町の地内で、観光客が歩いて回ることができるよう道路整備や案内表示を進めて行きたい。

参加者

- ・万葉まつりの朗唱の会は、観覧者よりも出演者の方が多いと感じる。もっと多くの人が観覧できるよう考えていくべき。

市長

- ・古城公園が国指定史跡となり、公園内に新たに施設をつくることができなくなったことから、朗唱の会のための恒久的な観覧席をつくることができない。ゆったりした雰囲気の中で観覧できるよう工夫をしていきたい。

参加者

- ・観光振興の一環として、マンホールのふたに前田家の梅鉢の紋を取り入れてはどうか。

市長

- ・マンホールだけでなく、様々な場面で前田家の梅鉢紋や高岡を代表するものを活用していきたい。

参加者

- ・瑞龍寺の裏手を通る JR 城端線の地下に歩道等の通路を設置し、観光客等が通れるようにしてはどうか。

市長

- ・瑞龍寺周辺の整備は課題の一つである。来訪が増えるよう利便性を高めていきたい。

参加者

- ・現在、自治会への補助金も減ってきており、自治会の負担も増大している。このような状況で、市議会議員の議員報酬を引き上げるのか。

市長

- ・補助金については、その主旨を再考するなど常に見直しを行っているが、今後どのようにしていくべきか検討したい。

参加者

- ・古城公園が国指定史跡となったため、現在の市民会館を解体し、スポーツコアと新高岡駅の間に建てるという話を聞いたが本当か。現在の市民会館の稼働率が高くないのであれば、新しく建設するよりも、テクノドームに音響施設を増設して活用してはどうか。

市長

- ・今後の市民会館のあり方については、具体的に決まっていない。古城公園は国の指定史跡になったことから、本来、城にはないものは新しく作らないという方針である。市民体育館は老朽化のためスポーツコアに移転し、その跡地は公園として考えている。市民会館は耐震に問題があるため、いずれは解体し、代替地に建て直すことになると思うが具体的な議論は進んでいない。建て直すことになった場合は、文化活動の拠点となるような場所で、交通の便が良くまちと一体となる所に建設したいと考えている。

参加者

- ・ボールパーク高岡の稼働率が低いのであれば、コンサートなどで利用してはどうか。

市長

- ・ボールパーク高岡は高校野球や富山サンダーバーズの試合を中心に利用されており、今年の夏の高校野球では 8 試合が行われている。今後、来年度以降のボールパーク高岡での準決勝・決勝戦の開催を、県をはじめ高野連に働きかけていきたい。

参加者

- ・高岡市では、保育園の待機児童はいないということだが、学童保育では、児童の預かり時間の延長による指導者不足や、預けられる学年が上がったことで利用者が増え、施設が手狭になっているとの問題があると聞く。施設については、小学校の余裕教室の利用を進めると聞いているが、指導者の高齢化が心配である。地域の運営協議会に全面的に任せるのではなく、指導員の意見を取り入れたり、学童保育の実態を正確に把握するなど、市はもっと問題意識を持ってほしい。

市長

- ・高岡市では、「子育て満足度日本一」という基本理念を掲げており、総合的な保育ニーズを満たす取り組みを行っている。学童保育については、小学校の余裕教室を利用できるようになったため、既にいくつか整備している。指導者不足の問題については、仕事を退職し時間に余裕がある方等を対象に広く指導員を募集する。市も学童保育の実態については把握しており、引き続き子育て支援の充実に取り組んでいきたい。

参加者

- ・子どもの貧困は高岡市でも重要な問題で、児童扶養手当だけでは生活が成り立たない家庭もある。以前、波岡にあった母子寮を廃止し取り壊したが、高岡にも母子寮やステップハウス¹のような施設が必要ではないか。既存の建物を活用しながら整備してほしい。

市長

- ・子どもの貧困については、まず実態調査から始めたい。波岡にあった母子寮は建物が老朽化していたため取り壊したが、同じような機能を持つ施設については確保していきたい。

参加者

- ・子育て環境の整備には、地域や企業、行政の協力が不可欠である。大企業ではワークライフバランスが浸透してきているが、中小企業にはまだ浸透していない。まずは、市役所が先進的な取り組みを行い、市内の各企業等に周知してほしい。

市長

- ・ワークライフバランスについては、市役所においても、自分自信を含め管理職の全員が、職員の生活と仕事の調和がとれるよう「イクボス宣言」を行った。浸透するまでには時間がかかるかもしれないが率先して行動していきたい。

¹ 一時保護所を退所後、住居の確保が困難な被害者の自立を支援することを目的とし、一時的に住居の提供を行うとともに相談・援助を行うもの。

参加者

- ・リオオリンピックの女子レスリングでの登坂選手の活躍は素晴らしかった。県ではパレードを企画していると聞いているが、ぜひ高岡市でも行ってほしい。

市長

- ・登坂選手が金メダルを取ったことは大変うれしく思う。今後、市でお祝いしていきたい。

参加者

- ・市民会館については、新しく建て直すのではなく、既存の施設を活用してほしい。

市長

- ・市民会館は、現在の建物をできるだけ大切に利用していきたいが、同規模のもので新しく建て直す必要があるかどうかについては今後議論をしていきたい。もし市民会館を建て直す場合は、高岡の文化の発展のため、それに見合った規模のものを建てたいと考えている。

参加者

- ・公共交通を利用して新高岡駅に行く際の利便性をもっと高めてほしい。万葉線やバスの接続をもっと良くし、観光客が歩いて市内を観光できるようにすべき。

市長

- ・高岡駅と新高岡駅間の接続については、北陸新幹線の開業時にバス路線を再編し、10 分間隔で行き来できるようにした。また、JR 城端線にも新高岡駅ができ接続が良くなった。市内のバス路線については、バス事業者と相談しながらより便利な状況にしたい。また、将来に向けての課題として、JR 氷見線と城端線の直通化などを念頭に置いており、公共交通の利便性が高まるよう引き続き取り組んでいきたい。